

平成 年 月 日

菊川市長 太田 順一 様

菊川市行財政改革推進懇話会
会長 坂本 光司

補助金等の見直しについて (答申)

平成29年3月16日付菊企企第235号により諮問のあった標記の件について、所管する部及び課から個別に聞き取りを行い、その必要性や妥当性について客観的な視点から審査・評価を行ってきました。今回、個々の補助金等の評価結果を別紙のとおり取りまとめたので答申します。

市においては、この評価結果及び委員の意見をできる限り尊重し、今後の補助金等の見直しにあたって、活用されることを期待します。

1 補助金等見直しの概要

(1) 目的

近年の人口減少に伴う厳しい財政状況や社会情勢の変化による市民ニーズの多様化等により、補助金の求められる役割は変化している。見直しを実施し、補助事業の「目的」、「効果」を確認し、真に必要な補助がされているのかを確認する必要がある。

(2) 対象事業

予算科目 19 節から抽出した 109 事業を対象として補助金等の見直しを行った。

(3) 方法

対象事業 109 事業の中から、行財政改革推進本部会及び行財政改革推進懇話会で選定した以下の 5 事業に対して、第 2 回行財政改革推進懇話会で担当課にヒアリングを行い、外部評価を実施した。また、外部評価対象外の 104 事業については、財政課及び企画政策課で担当課にヒアリングを行い、行財政改革推進懇話会で内容を確認した上で内部評価結果を決定させた。

【外部評価実施事業】

- ・指定通信教育修了者受講費助成金
- ・シルバー人材センター補助金
- ・自然エネルギー利用促進補助金
- ・自給率向上推進対策事業補助金
- ・分団運営費交付金

2 補助金等見直し結果（外部評価・内部評価）

(1) 見直し結果の分類

分類	事業数
A 1 : 継続（現行のまま継続）	6 7 事業
A 2 : 継続（検討事項あり）	3 5 事業
B 1 : 重点化（対象の拡大、補助率の増など）	3 事業
B 2 : 縮小（対象の制限、補助率の減など）	1 事業
C : 終了・廃止	3 事業

3 評価の結果

No.	所属名称	補助金名	担当課評価	外部評価	評価結果（外部評価または内部評価）	備考
1	総務課	職員互助会助成金	A：現行のまま継続		A1：継続（現行のまま継続）	
2	総務課	指定通信教育修了者受講費助成金	A：現行のまま継続	○	A1：継続（現行のまま継続）	※「4外部評価（ヒアリング）結果」とおり
3	地域支援課	交通安全会補助金	A：現行のまま継続		A1：継続（現行のまま継続）	
4	地域支援課	コミュニティ組織運営費補助金	A：現行のまま継続		A1：継続（現行のまま継続）	
5	地域支援課	連合自治会運営費補助金	A：現行のまま継続		A1：継続（現行のまま継続）	
6	地域支援課	1%地域づくり活動交付金	B1：重点化（対象の拡大、補助率の増など）		B1：重点化（対象の拡大、補助率の増など）	地域づくりの課題を整理した上で、交付条件や対象事業を検討し、平成31年度から重点化を行う。
7	地域支援課	国際交流協会補助金	A：現行のまま継続		A1：継続（現行のまま継続）	
8	地域支援課	地区センター運営費補助金	A：現行のまま継続		A1：継続（現行のまま継続）	
9	危機管理課	ため池洪水調整補助金	B1：重点化（対象の拡大、補助率の増など）		A2：継続（検討事項あり）	補助の目的・対象者・対象等を確認すること。
10	危機管理課	耐震シェルター整備費補助金	A：現行のまま継続		A1：継続（現行のまま継続）	
11	危機管理課	防災ベッド購入費補助金	A：現行のまま継続		A1：継続（現行のまま継続）	
12	危機管理課	自主防資機材整備費補助金	B1：重点化（対象の拡大、補助率の増など）		A2：継続（検討事項あり）	補助の目的・対象者・対象等を確認すること。（県の計画に合わせて補助内容を検討すること。）
13	市民課	人権擁護委員会助成金	A：現行のまま継続		A1：継続（現行のまま継続）	
14	環境推進課	ゴミ集積施設設置費補助金	A：現行のまま継続		A2：継続（検討事項あり）	補助の目的・対象者・対象等を確認すること。
15	環境推進課	環境衛生自治推進協議会補助金	A：現行のまま継続		A2：継続（検討事項あり）	補助の目的・対象者・対象等を確認すること。（自主財源の確保を検討すること。）
16	環境推進課	古紙等資源集団回収奨励補助金	A：現行のまま継続		A1：継続（現行のまま継続）	
17	環境推進課	生ゴミ処理機購入費補助金	A：現行のまま継続		A2：継続（検討事項あり）	補助の目的・対象者・対象等を確認すること。
18	環境推進課	資源物分別収集奨励金	A：現行のまま継続		A1：継続（現行のまま継続）	
19	環境推進課	剪定枝等処理事業補助金	A：現行のまま継続		A2：継続（検討事項あり）	補助の目的・対象者・対象等を確認すること。

No.	所属名称	補助金名	担当課評価	外部評価	評価結果（外部評価または内部評価）	備考
20	環境推進課	飼い主のいない猫不妊・去勢手術費補助金	A：現行のまま継続		A1：継続（現行のまま継続）	
21	環境推進課	自然エネルギー利用促進補助金	B2：縮小（対象の制限、補助率の減など）	○	A2：継続（検討事項あり）	※「4外部評価（ヒアリング）結果」とおり
22	環境推進課	食品衛生協会補助金	A：現行のまま継続		A2：継続（検討事項あり）	補助金支出の根拠を確認すること。
23	下水道課	浄化槽設置事業費補助金	B1：重点化（対象の拡大、補助率の増など）		B1：重点化（対象の拡大、補助率の増など）	平成29年度から平成31年度分について、合併浄化槽推進のため、重点化を行う。
24	福祉課	民生児童委員協議会補助金	A：現行のまま継続		A1：継続（現行のまま継続）	
25	福祉課	福祉相談事業費補助金（社会福祉協議会）	A：現行のまま継続		A1：継続（現行のまま継続）	
26	福祉課	ボランティア団体活動推進事業費補助金（社会福祉協議会）	A：現行のまま継続		A1：継続（現行のまま継続）	
27	福祉課	地域福祉活動推進事業費補助金（社会福祉協議会）	A：現行のまま継続		A2：継続（検討事項あり）	他補助金との整合性を確認すること。
28	福祉課	法人運営費補助金（社会福祉協議会）	A：現行のまま継続		A2：継続（検討事項あり）	補助の目的・対象者・対象等を確認すること。
29	福祉課	菊川市更生保護女性会補助金	A：現行のまま継続		A1：継続（現行のまま継続）	
30	福祉課	東小笠地区保護司会菊川支部補助金	A：現行のまま継続		A2：継続（検討事項あり）	補助金支出の根拠を確認すること。
31	福祉課	草笛の会居宅介護事業補助金	A：現行のまま継続		A2：継続（検討事項あり）	他市町と協議して補助内容を検討すること。
32	福祉課	小笠掛川ひまわり会補助金	A：現行のまま継続		A1：継続（現行のまま継続）	
33	福祉課	知的障害者更生施設用地借地料補助金	A：現行のまま継続		A2：継続（検討事項あり）	補助の目的・対象者・対象等を確認すること。
34	福祉課	自動車改造費助成事業補助金	A：現行のまま継続		A2：継続（検討事項あり）	補助の目的・対象者・対象等を確認すること。
35	福祉課	心身障害者通所費補助金	A：現行のまま継続		A1：継続（現行のまま継続）	
36	福祉課	あいあい学園補助金	A：現行のまま継続		A1：継続（現行のまま継続）	
37	福祉課	新生児出産祝い補助金	A：現行のまま継続		A1：継続（現行のまま継続）	
38	福祉課	母親クラブ育成事業補助金	A：現行のまま継続		A1：継続（現行のまま継続）	
39	福祉課	小規模遊具整備事業費補助金	A：現行のまま継続		A1：継続（現行のまま継続）	
40	福祉課	小児慢性特定疾患日常生活給付事業補助金	A：現行のまま継続		A1：継続（現行のまま継続）	
41	福祉課	軽度・中等度難聴児補聴器購入費助成金	A：現行のまま継続		A1：継続（現行のまま継続）	

No.	所属名称	補助金名	担当課評価	外部評価	評価結果（外部評価または内部評価）	備考
42	福祉課	重度身体障害者等防災用具給付事業補助金	A：現行のまま継続		A1：継続（現行のまま継続）	
43	長寿介護課	シルバー人材センター補助金	A：現行のまま継続	○	A2：継続（検討事項あり）	※「4外部評価（ヒアリング）結果」とおり
44	長寿介護課	老人クラブ補助金	A：現行のまま継続		A2：継続（検討事項あり）	他補助金との整合性を確認すること。
45	長寿介護課	菊川市社会福祉法人等による利用者負担軽減制度事業費補助金	A：現行のまま継続		A1：継続（現行のまま継続）	
46	健康づくり課	不妊治療助成金	A：現行のまま継続		A1：継続（現行のまま継続）	
47	健康づくり課	妊娠出産時家庭ホームヘルプサービス利用補助金	A：現行のまま継続		A1：継続（現行のまま継続）	
48	建設課	市道改良補助金	A：現行のまま継続		A1：継続（現行のまま継続）	
49	建設課	河川改修促進連合協議会補助金	A：現行のまま継続		A1：継続（現行のまま継続）	
50	建設課	河川改修補助金	A：現行のまま継続		A1：継続（現行のまま継続）	
51	都市計画課	既存建築物耐震診断事業補助金	A：現行のまま継続		A1：継続（現行のまま継続）	
52	都市計画課	耐震補強補助金	A：現行のまま継続		A1：継続（現行のまま継続）	
53	都市計画課	菊川市若者世帯定住促進補助金	A：現行のまま継続		A1：継続（現行のまま継続）	
54	都市計画課	ブロック塀等耐震改修促進事業補助金	A：現行のまま継続		A1：継続（現行のまま継続）	
55	商工観光課	労働者福祉協議会補助金	A：現行のまま継続		A1：継続（現行のまま継続）	
56	商工観光課	経営改善普及事業補助金	A：現行のまま継続		A1：継続（現行のまま継続）	
57	商工観光課	消費拡大事業補助金	A：現行のまま継続		A1：継続（現行のまま継続）	
58	商工観光課	小口資金信用保証料補助	A：現行のまま継続		A1：継続（現行のまま継続）	
59	商工観光課	工業振興費補助金	A：現行のまま継続		A1：継続（現行のまま継続）	
60	商工観光課	西方ふるさとづくり推進委員会補助金	A：現行のまま継続		A1：継続（現行のまま継続）	
61	商工観光課	菊川市観光協会運営事業費補助金	B1：重点化（対象の拡大、補助率の増など）		B1：重点化（対象の拡大、補助率の増など）	県の大型キャンペーンもあり、市が支えていかなければ、観光がより低下してしまう可能性がある。市と観光協会のつながりを強化する必要がある。
62	商工観光課	地域産業立地事業補助金	A：現行のまま継続		A2：継続（検討事項あり）	補助の目的・対象者・対象等を確認すること。
63	農林課	ファームプランの会助成金	A：現行のまま継続		A1：継続（現行のまま継続）	

No.	所属名称	補助金名	担当課評価	外部評価	評価結果（外部評価または内部評価）	備考
64	農林課	水田営農推進事業費補助金	A：現行のまま継続		A2：継続（検討事項あり）	補助の目的・対象者・対象等を確認すること。
65	農林課	農業生産技術向上支援事業費補助金	A：現行のまま継続		A2：継続（検討事項あり）	補助の目的・対象者・対象等を確認すること。
66	農林課	農業振興会補助金	A：現行のまま継続		A1：継続（現行のまま継続）	
67	農林課	荒廃農地等利活用促進事業費補助金 （耕作放棄地再生利用緊急対策事業費補助金）	A：現行のまま継続		A2：継続（検討事項あり）	国・県の計画等に合わせて補助内容を検討すること。
68	農林課	地域特産作物推進事業費補助金	A：現行のまま継続		A1：継続（現行のまま継続）	
69	農林課	死亡家畜処理費補助金	A：現行のまま継続		A1：継続（現行のまま継続）	
70	農林課	自給率向上推進対策事業補助金	B2：縮小（対象の制限、補助率の減など）	○	C：終了・廃止	※「4外部評価（ヒアリング）結果」とおり
71	農林課	市単土地改良事業補助金	A：現行のまま継続		A1：継続（現行のまま継続）	
72	農林課	小規模災害補助金	A：現行のまま継続		A1：継続（現行のまま継続）	
73	農林課	農業施設維持管理補助金	A：現行のまま継続		A1：継続（現行のまま継続）	
74	農林課	緑化推進協議会補助金	A：現行のまま継続		A1：継続（現行のまま継続）	
75	農林課	花の会補助金	A：現行のまま継続		A1：継続（現行のまま継続）	
76	農林課	有害鳥獣駆除補助金	A：現行のまま継続		A1：継続（現行のまま継続）	
77	農林課	環境保全型農業直接支援対策事業費補助金	A：現行のまま継続		A1：継続（現行のまま継続）	
78	農林課	農業経営基盤強化資金利子助成事業補助金	A：現行のまま継続		A1：継続（現行のまま継続）	
79	農林課	有害鳥獣被害防止対策協議会補助金	A：現行のまま継続		A1：継続（現行のまま継続）	
80	茶業振興課	環境保全茶栽培事業補助金	A：現行のまま継続		A2：継続（検討事項あり）	他市町と協議して補助内容を検討すること。
81	茶業振興課	遠州夢咲茶業振興連絡協議会補助金	A：現行のまま継続		A2：継続（検討事項あり）	他市町と協議して補助内容を検討すること。
82	茶業振興課	安全安心の菊川茶生産推進事業補助金	A：現行のまま継続		A2：継続（検討事項あり）	関連計画等に合わせて事業内容を検討すること。
83	茶業振興課	茶園再編整備事業補助金（茶園造成）	A：現行のまま継続		A2：継続（検討事項あり）	関連計画等に合わせて事業内容を検討すること。
84	茶業振興課	茶園再編整備事業補助金（かん水）	A：現行のまま継続		A2：継続（検討事項あり）	関連計画等に合わせて事業内容を検討すること。
85	茶業振興課	茶業構造改革推進事業費補助金	A：現行のまま継続		A2：継続（検討事項あり）	関連計画等に合わせて事業内容を検討すること。

No.	所属名称	補助金名	担当課評価	外部評価	評価結果（外部評価または内部評価）	備考
86	茶業振興課	茶業組織経営体育成等機械化推進事業補助金	A：現行のまま継続		A2：継続（検討事項あり）	関連計画等に合わせて事業内容を検討すること。
87	議会事務局	政務活動費交付金	A：現行のまま継続		A1：継続（現行のまま継続）	
88	教育総務課	児童生徒通学費補助金	A：現行のまま継続		A1：継続（現行のまま継続）	
89	教育総務課	小中PTA連合会補助金	A：現行のまま継続		A2：継続（検討事項あり）	補助の目的・対象者・対象等を確認すること。
90	教育総務課	部活奨励費補助金	A：現行のまま継続		A1：継続（現行のまま継続）	
91	幼児教育課	菊川市幼保研修会活動費補助金	A：現行のまま継続		A1：継続（現行のまま継続）	
92	幼児教育課	保育園敷地借地料補助金	A：現行のまま継続		A2：継続（検討事項あり）	補助の目的・対象者・対象等を確認すること。
93	幼児教育課	障害児保育事業補助金	A：現行のまま継続		A1：継続（現行のまま継続）	
94	幼児教育課	多様な保育推進事業費補助金	A：現行のまま継続		A1：継続（現行のまま継続）	
95	幼児教育課	保育対策等促進事業費補助金	A：現行のまま継続		A1：継続（現行のまま継続）	
96	幼児教育課	年度途中入所サポート事業費補助金	A：現行のまま継続		A1：継続（現行のまま継続）	
97	幼児教育課	就園奨励費補助金	A：現行のまま継続		C：終了・廃止	現在の対象者が卒園した時点で廃止する。
98	社会教育課	青少年団体活動費補助金	A：現行のまま継続		A2：継続（検討事項あり）	補助の目的・対象者・対象等を確認すること。
99	社会教育課	青少年育成事業参加者補助金	C：終了・廃止		C：終了・廃止	当初計画通り執行実績がないため廃止する。
100	社会教育課	潮海寺文化財保存会補助金	A：現行のまま継続		A1：継続（現行のまま継続）	
101	社会教育課	虚空蔵山補助金	A：現行のまま継続		A1：継続（現行のまま継続）	
102	社会教育課	栗田土満遺徳顕彰会補助金	A：現行のまま継続		A2：継続（検討事項あり）	補助の目的・対象者・対象等を確認すること。
103	社会教育課	大頭龍神楽保存会補助金	A：現行のまま継続		A2：継続（検討事項あり）	補助の目的・対象者・対象等を確認すること。
104	社会教育課	内田郷土資料館保存会補助金	A：現行のまま継続		A2：継続（検討事項あり）	補助の目的・対象者・対象等を確認すること。
105	社会教育課	山西郷土資料館補助金	A：現行のまま継続		A2：継続（検討事項あり）	補助の目的・対象者・対象等を確認すること。
106	社会教育課	文化協会活動費補助金	A：現行のまま継続		A2：継続（検討事項あり）	補助金支出の根拠を確認すること。
107	社会教育課	スポーツ少年団大会開催事業費補助金	A：現行のまま継続		A1：継続（現行のまま継続）	

No.	所属名称	補助金名	担当課評価	外部評価	評価結果（外部評価または内部評価）	備考
108	社会教育課	黒田家管理費補助金	A：現行のまま継続		A1：継続（現行のまま継続）	
109	消防本部	分団運営費交付金	B2：縮小（対象の制限、補助率の減など）	○	B2：縮小（対象の制限、補助率の減など）	※「4外部評価（ヒアリング）結果」とおり

4 外部評価（ヒアリング）結果

(1) 指定通信教育修了者受講費助成金

<p>担当課 説明内容 (概要)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 効率的な行政運営を実現させるため、職員が職務遂行能力の獲得、向上を目的として通信教育を受講した際に助成を行っている。 ・ 実績件数としては、過去3年間の実績は想定を下回っている状況だが、平成29年度は補助対象講座を拡充させ、受講の申込者は予算上の想定数に達している。 ・ 今後の課題としては、制度の周知や講座の未修了者を出さないためのフォローをしていくことが必要であると考えている。 ・ 職員の自己啓発意欲に応えるため、現行のまま継続させていきたいと考えている。 ・ 受講結果について、自己啓発活動として、人事評価制度において能力開発の評価対象としている。 ・ この事業の他にも様々な研修制度があるが、専門的な知識の獲得は、選抜指名研修の制度として、国の研修所へ職員を派遣して研修を受講させている。 ・ 申込申請やEラーニング等はITを活用し、web上で行うことが可能。
<p>補助金に対する委員からの主な意見等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事務局の考えに賛成で、意欲のある職員、自ら動く職員は魅力的であるので、制度としては是非続けていただきたい。人事としては、スペシャリストを育てることも重要だと思うので、内容見直しも検討し、人事考課とリンクさせていただきたい。 ・ 市がこれから行おうとしている特定事業を行うために、人材を育てることが重要だ考える。この事業は継続で良いと思うが、それに加えて先進地への職員派遣等、勉強させて人材育成をすることが必要である。 ・ 人事評価制度等に自己啓発を組織的に組み入れれば活性化するのではないかと思う。 ・ 民間で伸びている企業は研修教育にどこも力を入れている。総労働時間に占める研修時間を出すと、良い会社は5%程あり、1ヶ月で表すと1日程度になる。
<p>委員による投票結果</p>	<p style="text-align: center;">継続：6票</p>
<p>方向性</p>	<p style="text-align: center;">「継続（現行のまま継続）」</p>

(2) シルバー人材センター補助金

<p>担当課 説明内容 (概要)</p>	<ul style="list-style-type: none">・国の高齢者等雇用の安定等に関する法律に基づいて事業を行っており、国からの補助を受けるため、国の補助額と同額以上を市が支出することが要件となっている。・シルバー人材センターは公益社団法人ということで運営を行っているため、収入については事業に要する適正な費用を超えないようにする必要がある。・補助金の対象は人件費や光熱水費等の管理費、団体の運営に必要な事業費等で要綱に定められている。・時間給水準は作業内容によるが、一般作業の場合、活動料金の目安は780円～880円程度である。また、1人当たりの業務日数は様々だが、概ね月10日以内、週20時間を超えない範囲となっている。・高齢者の活躍の場を増やすため、新規に介護保険事業において、日常生活支援総合事業の枠組みの中で軽度生活援助サービスをシルバー人材センターへ委託し、事業拡大に向けて説明会等の開催に協力している。・経費の削減、経営改善については、適正に執行するために県及び市で監査をしている。商工会等での経営指導は受けていないが、県及び国の制度が変わる中で、適正に経費節減に努力していると市としては判断している。
<p>補助金に対する委員からの主な意見等</p>	<ul style="list-style-type: none">・駅前のもニュメントの花壇等の管理をシルバー人材センターに依頼するのはどうか。・シルバー人材センターに現在依頼している業務、65歳以上の方でノウハウや専門知識を持った方が行える業務、働くまではいかなくても、運動や体操で健康維持したいという方に対する業務、それぞれについて人材を市や企業とつなげることを依頼すると非常に良いのではないか。・リサイクルステーションで分別等をシルバー人材センターの方がしていただけるととても助かっているので、是非続けていただきたい。・少子高齢化社会の中で、高齢者を元氣させる仕組みとして充実させていただきたいと思う。良い人材がいるので、どんどん活用していただきたい。健康長寿のまちの実現に向けて、補助金を増やすのも手ではないか。
<p>委員による 投票結果</p>	<p style="text-align: center;">継続：3、重点化：3</p>
<p>方向性</p>	<p style="text-align: center;">「継続（検討事項あり）」</p>

(3) 自然エネルギー利用促進補助金

<p>担当課 説明内容 (概要)</p>	<ul style="list-style-type: none">・地球温暖化防止のため、太陽光発電システム、太陽熱温水器、ソーラーシステム設置者に補助を行う。・太陽光発電システムの売電価格の低下や申請件数の動向を踏まえ、作った電気を売る時代から使う時代に移行すると考え、補助対象機器の見直していきたいと考えている。具体的には、太陽光発電システムの対象機器の中から新築分を外して既築分のみとし、新たな補助対象機器として蓄電池を追加する。・新築分を対象から外す理由としては、県が実施する補助について新築が対象外となったことに加えて、新築の場合は太陽光発電システムがセットになっている場合も多く、補助金の有無がシステムの設置件数に影響を与えないと分析しているためである。
<p>補助金に対する委員からの主な意見等</p>	<ul style="list-style-type: none">・新築分を外すということであるが、新築で太陽光発電システムを設置すると固定資産税の収入が増えるという側面があるのではないかと。・補助対象を蓄電池にシフトすることには賛成する。ソーラーパネルは日本ではエネルギー効率があまり良くなく、緑化した方が環境に良いという意見もある。リチウムイオン電池は世界的に普及を望まれている部分もあるので、行政が協力することは非常に良いと思う。・移住定住の観点から見ると、ソーラーパネルは環境への優しさの象徴のように見えることもある。また、資金面からも市内で新築を増加させる施策を取る中で、ソーラーパネルがあることで売電収入があることから、菊川市に家を建てようとする方がいる可能性があるため、考慮した方が良いのではないかと。蓄電池にシフトするならば、蓄電池で生活のコストダウンにつながるということを打ち出す必要がある。
<p>委員による 投票結果</p>	<p>継続：4票、重点化：1票、縮小：1票</p>
<p>方向性</p>	<p>「継続（検討事項あり）」</p>

(4) 自給率向上推進対策事業補助金

<p>担当課 説明内容 (概要)</p>	<ul style="list-style-type: none">・ 需要に応じた米の計画的な生産と水田を有効利用した転作作物の拡大生産により、土地利用型農業の活性化を図るため、小麦・大豆等の生産等、水田の有効利用を行った者に補助を行っている。・ 国の米政策の改革により、米の直接支払交付金は平成 29 年度を持って廃止される。それに伴い、市でも平成 28 年度から補助額を半額としている。さらに、平成 30 年度には補助額を縮小させて補助額を 3,000 円とし、平成 31 年度からは補助金を廃止する方針である。・ ブロックローテーションによる米の生産調整によって転作が浸透してきたことや、飼料用の米の作付けが拡大してきたことから補助金の目的は達成したと考えている。・ 生産数量目標値の 62.2%を下回っており、過剰作付がされていない状態だと判断している。
<p>委員からの 主な意見等</p>	<ul style="list-style-type: none">・ 今後の方向性について、「縮小」としているが、最終的に平成 31 年度に廃止する予定であれば「廃止」でも良いのではないか。・ 事務局の意見に賛成で、農業は今後、経営の部分に重点化に補助していくべきである。補助を受けずに成り立っている部分については、農業の他の分野に回していくべきである。
<p>委員による 投票結果</p>	<p style="text-align: center;">縮小：3票、廃止：3票</p>
<p>方向性</p>	<p style="text-align: center;">「終了・廃止」</p>

(5) 分団運営費交付金

<p>担当課 説明内容 (概要)</p>	<ul style="list-style-type: none">・ 消防団及び消防団本部に対して運営費等を補助し、消防団の活性化、消防体制の強化促進を図っている。・ 分団運営費交付金は、消防団員互助会運営事業、消防団幹部視察研修事業、消防団運営事業に分かれている。・ 消防団員互助会運営事業について、内訳は給付金、福利厚生費、広報活動費等となるが、対象経費や補助率等の縛りの中で、慶弔費等の給付が思うように進められていないのが現状である。 <p>消防団員の確保等の観点から、消防団員及び家族を対象とした福利厚生事業の充実が必要だと考えており、補助金交付基準に捉われない事業展開を図るため、団員からの会費のみで運営していく方針である。また、一部の事業については、一般会計の中で予算計上していきたいと考えているため、消防団員互助会運営事業は交付金対象から外すこととする。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 消防団幹部視察研修事業、消防団運営事業については、団員確保が厳しい状況の中、消防団運営に寄与しており、継続が必要と考えているが、消防団員互助会運営事業を外すことにより、分団運営費交付金の方向性としては縮小と評価した。
<p>委員からの 主な意見等</p>	<ul style="list-style-type: none">・ 消防団の維持は安心、安全に関わることであるので、重要な事業だと思う。補助金全体の金額は下げたとしても、補助金が消防団員に還元される仕組みを構築するべきである。具体的には訓練や研修等の実績に応じて補助を出すという方法もあるのではないかと考える。・ 補助金を縮小させるといふより、消防団の事業自体を見直すことが必要ではないか。団員確保の観点からすると、朝訓練等の負担について改善が見られていない。団員の負担軽減を図ることが必要である。
<p>委員による 投票結果</p>	<p>継続：1票、重点化：1票、縮小：4票</p>
<p>方向性</p>	<p>「縮小（対象の制限、補助率の減など）」</p>

5 菊川市行財政改革推進懇話会開催経過

平成 29 年 6 月 29 日(木)	第 1 回行財政改革推進懇話会 ・補助金見直し評価対象 5 件抽出
平成 26 年 8 月 17 日(木)	第 2 回行財政改革推進懇話会 ・補助金見直し評価ヒアリング

6 菊川市行財政改革推進懇話会委員名簿 (敬称略)

区分	氏 名	備 考
会長	坂本 光司	
副会長	加藤 平三郎	
委員	藤川 伸二	
委員	村木 正宣	
委員	牧野 百里子	
委員	福井 逸子	
委員	齋藤 久司	
委員	松下 育蔵	
委員	戸塚 正晴	任期：～平成 29 年 8 月 31 日
委員	落合 信夫	任期：～平成 29 年 8 月 31 日
委員	藤原 喜久郎	任期：平成 29 年 9 月 1 日～
委員	松本 雅美	任期：平成 29 年 9 月 1 日～